

# 東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクトニュース “黄色いハンカチ”

【発行者】

松戸・東北交流プロジェクト(代表:古宮保子)  
〒271-0092 松戸市松戸 1834- 5 小川ビル 2 階  
TEL: 047-710-5519 FAX: 047-710-5546  
E-mail: yellowhandkerchief1834@gmail.com

避難者のみなさん、支援者のみなさん、3月11日をどのように過ごされたでしょうか。松戸・東北交流プロジェクトでは、松戸市で活動している「松戸うたごえ喫茶」のみなさんからの誘いもあり『3.11を忘れない！東日本大震災復興支援 大うたごえ喫茶』を共催で開催いたしました。「愛の反対は、憎しみではなく無関心」と松戸うたごえ喫茶代表金本光弘さんはマザー・テレサの言葉を引用して挨拶をしました。震災の起きた時刻2時46分には会場内の光も落とし黙とうをささげました。今回の入場料の一部を復興支援に使わせていただくことになりました。贈呈式で避難者の現状をみなさんにお伝えすることができました。大切にに使わせていただきます。大変ありがとうございました。今後とも東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクトをよろしく願います。(代表 古宮保子)



## 会場ひとつとなって復興を願い歌う

### 大うたごえ喫茶 ～新宿ともしび in 松戸

3月11日(金)に市民会館ホールで復興支援 大うたごえ喫茶が開催。都内に拠点がある新宿ともしびのみなさんの音楽演奏・巧みな司会で会は進行し、歌集を見て、大合唱をしました。懐メロのほか「ふるさは今もかわらず」「花は咲く」なども歌いました。850人強の参加を頂きました。



## 子どもに大人気！ハンカチに復興への想いを描く

### 黄色いハンカチキャンペーン

3月26日(日)松戸西口デッキを会場に行われたみらいフェスタ2016(まつど市民活動サポートセンター主催)に出展。ハンカチに復興の思いを描く活動「黄色いハンカチキャンペーン」を行いました。当日は、コーヒーやジュースを用意するなど「サテライトサロン



黄色いハンカチ」にも多くの子供が参加し、絵とともに「笑顔」「希望」「頑張って」色鮮やかに描いていただきました。メッセージの書かれた黄色いハンカチは、年ごとに増えて行っています。

広げよう支援の輪

## 未来に明るい希望・復興を願って

### 5 年目特別法要



3月10日(木)は圓慶寺の浅賀住職に訪していただき、一日早く、特別に法要を行いました。

講話では「過去を振り返りがちですが、今日はぜひ、未来を語りましょう」と話され、今後の展望について参加した避難者・市民とともに語り合いました。参加の避難者の方のお話です。「皆さんと気持ちが合わせられ心が落ち着きました」

## 南相馬市のみなさんと意見交換

### 南相馬市避難者交流会

3月5日(土)念願であった南相馬市避難者交流会を開催しました。関東各地から18名が参加しました。南相馬市復興企画部企画課帰還支援係の職員2名をはじめ、県庁の方、弁護士、社会保険労務士の方が挨拶。地元の方の状況について配布資料をもとに説明されました。



午後は自己紹介。南相馬市白地図を壁に貼り「昔ここに住んでいた」など近隣の話、震災当時の話、今の生活など意見交換に話が弾みました。今回は、初回ですが次回が大切と心しています。

流山市内で開催されているつるし雛を見に、サロンの皆さんと一緒に行きました。つるし雛・お雛様は「流山市役所」や「民間のお店」などに飾られていました。古式ゆかしいお雛様にも出会いました。お昼は予約しており、天気にも恵まれて、楽しいミニ旅行になりました。

流山のお雛様に出会う旅  
3月17日(木)



3月13日(日)和太鼓のひびきにお誘いを受け、手芸品の販売をさせていただきました

松戸市和太鼓連盟会長木村宏様の挨拶の中で被災者の支援に触れて頂き、来場者がブースに立ち寄りくださいました。ありがとうございました。





# みんなの広場

「見失ったらそれまでよ」 南相馬市 60代 女性

近所にねぎや蕪、生姜等を栽培出荷する農家がある。関東ローム層の極細粒の土に育ち実においしい。今は蕪の季節で、6列に蒔かれて葉はこんもりと茂り、日に日に実が大きくなっていく。けれども11月に20℃を超える日が何日もあり、雨が多かった為に葉裏には白い斑点がつき、スベスベしたまあるい実は「大きな大きな蕪」になってしまった。手塩にかけて育てたものだが、収穫期を逃した蕪はトラクターでバリバリと碎かれ私達もふるさとに帰還(この言葉はどうにも好きになれない)する時期を誤り、見失ったら「それまでよ」となるのだろうか。いつ戻る？いつ戻れる？ふるさとがどんどん遠くなっていく。迷うばかりで決められずまた悩む私。

「祖父母への想い」 南相馬市 40代 女性

家族4人で生活する中、お盆とお正月は両親が住んでいる南相馬へ帰省しています。別れ際、最初の頃の子供達は「また来るね～」と祖父母に元気に手を振って別れます。帰省の回数が増えるにつれ、息子が祖父母との別れを悲しむようになりました。別れ際には目に涙を浮かべ、必死に悲しみをこらえる姿には胸が熱くなります。避難した息子は中一、まだあとけなさが抜けない年頃でしたが歳を重ね、成長と共に祖父母の大切さや、存在の大きさを学んだと思います。今では帰省した時、祖父母と過ごす時間を誰よりも大切にしているのは息子です。原発事故さえなければ、こんな辛い思いをしなくて済んだのに…。  
純粋な心を奪われたと思うと親はいたたまれません。息子の夢はまた以前のように家族6人で暮らす事です。いつの日か夢が叶う事を願っています。

「二度、焼け野原を見た」兵庫県50代 女性

神戸の人達はこの日を決して忘れることはない。私はお婆から「二度、焼け野原を見た」と言う言葉を聞いた。平和になった日本に半世紀以上生き、もう見ることはないはずの光景をまたも見てしまったのである。そして私たち、世界で唯一の被曝国の国民は、今も被曝を恐れて暮らしている。みんなが希望を持って明日を迎えられるよう願っている。

「日々の怒りとも何とも言えぬ感情」

松戸市 30代 女性  
私がこの松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」をインターネットで見つけて訪れる様になってから、1年数か月が過ぎた。この場所から学ぶ事は沢山有り、東北の方の心の温かさを身を持って感じさせて貰える。だが、それ以上に私の中には日々怒りとも何とも言えぬ感情と、拭えない幾度の疑問が蓄積して行く。今一番に考えているのは、自主避難に対する東京電力、政府の対応だ。

避難者の「先の見えない不安」から少しでも気持ちが和らぎ、心が軽くなるように願いながら投稿のコーナーを作りました。日々の暮らして感じた想い、不安や不満、本音なんでもOKです。匿名で結構ですので是非お便り下さい。又、質問などありましたら、内容によっては専門家におつなぎします。市民の投稿もお待ち下さい。(FAX、メール、お葉書、手紙にて受付中)

## 保子の聲

震災から5年、野鳥たちの声なき訴え  
今も影響を与え続ける放射性物質の脅威

日本野鳥の会に、寄付を続けています。そろそろ寄付を終わりにしようと、封書を開きました。上記のメッセージが目飛び込んできました。2015年の調査では、4年が経過してなお卵まで放射性物質の影響にさらされている実態が書いてありました。偶然にも同時期、NHKスペシャル「被曝(ひばく)の森～原発事故5年目の記録～」が放映されました。動物を扱った中で燕も扱っていました。母数が少ないため、まだ科学的に立証は難しいとの放映でした。学者の皆さん！異常を見つけたら、危機感をもって研究に取り掛かってください。動物たちに危険であることは、人間にだって同じことです。私は、もう少し寄付を続けます。



不均一なツバメの尾羽 (NHK画像から) 日本野鳥の会にも同様の写真があります。

## 松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」4月の予定

毎週火・水・木 10時～16時オープン中。利用は1回100円です。

**4月5日(火) 歌の日 13時30分～**  
みんなで楽しく歌いましょう  
担当:前田洋子さん

**4月12日(火) 相談デー**  
就職・税金・介護・原賠補償・～どんなことでも～  
相談員:古宮保子

**4月13日・27日(水) 13時30分～**  
初めての囲碁教室～一から教えます～  
市民ボランティア講師:今田靖雄さん

**4月19日(火) 13時30分～**  
手芸の日 可愛い小物づくり  
担当:戸丸栄子さん

**4月26日(火) 広域避難者交流の日**  
～語り合おう私たちのこれから～  
**4月28日(木) ママカフェ**  
～子育て中の避難者の皆さん集まりましょう～

松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」アクセスマップ  
松戸駅西口から徒歩5分(八百屋さんの隣のビル2Fです。)

